

調査研究部報告書情報シート

記入年月日: 2017年5月10日

情報No.	S-17-1	情報区分	プラ循環協調査報告
-------	--------	------	-----------

題名 報告書名	2016年度 廃プラスチックの動向調査報告書 (発電焼却で有効利用される産業系廃プラスチック)				
報告年月	2017年3月	ページ数	132	著者・出版元	プラ循環協

【キーワード】

処理方式		要素技術	
樹脂類別		化学物質名	
形状別		用途別	
法規制		国別	日本

調査研究内容	<p>【調査の背景と目的】</p> <p>発電焼却による産業系廃プラスチックの有効利用は、廃プラスチック全体の処理処分量の約1割を占める。発電焼却を行うことで、廃プラスチックの有効利用量が増え、環境負荷の削減にも貢献している。</p> <p>発電焼却で有効利用されている廃プラスチックを「処理側」から調査し、発電焼却で有効利用される廃プラスチック量、および発生源別の構成を明らかにし、フロー図の精度向上に資するとともに、併せて発電焼却関連の情報を収集・整理する。</p> <p>【調査の概要】</p> <p>①発電焼却に関して、PWMIの発行済みの報告書、公表されている外部の報告書や文献等より情報を収集・整理した。</p> <p>②優良産廃処理業者認定制度や維持管理情報等のインターネット情報により、産業廃棄物焼却量や発電量等の情報を収集・整理した。</p> <p>③PWMIが毎年行っている産業廃棄物のアンケート調査より、発電焼却に関するアンケート結果を用いて、発電焼却で有効利用されている廃プラスチックの発生源等を整理・解析した。</p> <p>④発電焼却を行っている8事業所の訪問調査を行い、ヒヤリングを実施した。</p>
	調査結果
備考	